

番号	事業名	部課名	評価			改善内容										2020年3月末時点の改善状況			
			評価結果	評価の総括	総括の整理（項目別）	所管課として受け止めた課題	目指すべき姿	改善に向けた取組	指標	現状値	目標値	達成時期	2017年度取組実績	年度計画		2020年3月末時点実績	改善状況	改善に向けた取り組み・成果等	「改善済み」にならなかった理由
														2018年度	2019年度				
7	成人保健指導事業	保健所保健予防課	要改善	<p>最終的な課題は、「健康意識が低い方に本事業にどう参加していただくか」である。また、その検討のためには、どのような方が参加しているかなど「属性の把握」が必要である。</p> <p>それらを踏まえて市としてこの事業を総括するような指標、目標を設定していただきたい。</p> <p>更に地域の要望を踏まえていただく一方で、提供するサービスを考える際には、市民がこの事業に参加する際のインセンティブを検討願いたい。</p>	<p>(1)「健康意識が低い方に成人保健指導事業（成人健康相談事業及び成人健康教育事業）にどう参加していただくか」を検討するため、どのような方が参加しているかなど「属性の把握」が必要である。</p> <p>また、それらを踏まえて市としてこの事業を総括するような指標、目標を設定する必要がある。</p>	<p>成人保健指導事業の目的（全住民の生活習慣の改善、健康増進・健康意識の向上）と成人健康相談事業の主な対象（メタボリック判定予備群該当者）にはズレが生じている。また、成人健康相談事業の主な対象と実際の参加者にもズレが生じている。</p> <p>そのため、成人保健指導事業では、全住民向けではなく、メタボリック判定予備群該当者を事業の中心として再設定する必要がある。また、事業対象者に関する情報を収集・分析のうえ、事業目的や成果指標についても改めて設定する必要がある。</p>	<p>成人保健指導事業の目的、対象、成果指標が整理されている。</p>	<p>① 成人健康相談事業の対象を明確にするため、法律で定められた「特定保健指導事業（※1）」と、市が独自に行っている「成人健康相談事業」の違い（※2）を「対照表」でわかりやすく整理し、市のホームページで周知する。</p> <p>※1 特定保健指導事業 主に国民健康保険に加入している方（被保険者）が受けた成人健康診査の結果、生活習慣の改善が必要と判定された方（※3）に対して、市が委託した専門機関が6カ月間にわたり、食事や運動を中心とした生活習慣の改善をサポートする事業。</p> <p>※2 「特定保健指導事業」と「成人健康相談事業」の違い 特定保健指導の非該当者のうち、メタボリック判定で予備群と判定された方（※4）については、積極的に成人保健指導事業を利用することが望まれる。</p> <p>※3 特定保健指導の判定基準 以下の基準Aに加えて、B、C、Dのいずれかに該当する方（服薬中の方を除く） 下線は、メタボリック判定基準と異なる箇所 A 腹囲 ・男性：85cm以上 女性：90cm以上 または、 ・男性：85cm未満 女性：90cm未満でBMIの値が25以上</p> <p>B 血圧 ・収縮期血圧：130mmHg以上、 ・拡張期血圧：85mmHg以上、 のいずれかまたは両方 C 脂質 ・中性脂肪値：150mg/dl以上、 ・HDLコレステロール値：40mg/dl未満、 のいずれかまたは両方 D 血糖 ・空腹時血糖：100mg/dl以上、 ・HbA1c：5.6%以上（NGSP値）、 のいずれかまたは両方</p> <p>※4 メタボリック判定基準（予備群） 以下の基準Aに加えて、B、C、Dのいずれか1つに該当する方 A 腹囲 ・男性：85cm以上 女性：90cm以上 B 血圧 ・収縮期血圧：130mmHg以上、 ・拡張期血圧：85mmHg以上、 ・高血圧に対する薬剤治療中、 のいずれか1つに該当 C 脂質 ・中性脂肪値：150mg/dl以上、 ・HDLコレステロール値：40mg/dl未満、 ・高トリグリセライド血症または低HDLコレステロール血症に対する薬剤治療中、 のいずれか1つに該当 D 血糖 ・空腹時血糖：100mg/dl以上、 ・HbA1c：5.6%以上（NGSP値）、 ・糖尿病に対する薬剤治療中、 のいずれか1つに該当</p>	<p>① ホームページを活用した事業内容の周知</p>	① -	① 事業内容の周知	① 2018年6月	① 事業整理	① 事業内容の周知	① - ※取組は継続実施	① 事業内容の周知（2019年1月） ・「特定保健指導事業」と、市が独自に行っている「成人健康相談事業」の違いを「対照表」でわかりやすく整理	改善済み	※町田市ホームページ掲載資料「町田市が実施している成人健康相談について」を参照	-

番号	事業名	部課名	評価			改善内容										2020年3月末時点の改善状況				
			評価結果	評価の総括	総括の整理（項目別）	所管課として受け止めた課題	目指すべき姿	改善に向けた取組	指標	現状値	目標値	達成時期	2017年度取組実績	年度計画		2020年3月末時点実績	改善状況	改善に向けた取り組み・成果等	「改善済み」にならなかった理由	
														2018年度	2019年度					
7	成人保健指導事業	保健所保健予防課	要改善	最終的な課題は、「健康意識が低い方に本事業にどう参加していただくか」である。また、その検討のためには、どのような方が参加していただかないか「属性の把握」が必要である。	<p>(1) 「健康意識が低い方に成人保健指導事業（成人健康相談事業及び成人健康教育事業）にどう参加していただくか」を検討するため、どのような方が参加していただかないか「属性の把握」が必要である。</p> <p>また、それらを踏まえて市としてこの事業を総括するような指標、目標を設定する必要がある。</p>	<p>成人保健指導事業の目的（全住民の生活習慣の改善、健康増進・健康意識の向上）と成人健康相談事業の主な対象（メタボリック判定予備群該当者）にはズレが生じている。また、成人健康相談事業の主な対象と実際の参加者にもズレが生じている。</p> <p>そのため、成人保健指導事業では、全住民向けではなく、メタボリック判定予備群該当者を事業の中心として再設定する必要がある。また、事業対象者に関する情報を収集・分析のうえ、事業目的や成果指標についても改めて設定する必要がある。</p>	<p>成人保健指導事業の目的、対象、成果指標が整理されている。</p>	②-ア 健康診査受診者データの分析結果の公表	②-ア -	②-ア 分析結果の公表	②-ア 2019年3月	②-ア 分析手法の検討	②-ア 分析・公表	②-ア -	②-ア 分析・公表（2019年3月）	改善済み	・2017年度1年間の健康診査データ抽出したものを、健康推進課から受領済み。 ・2019年現在、分析中。 ・3月に公表予定。	-		
								②-イ 目標値の設定	②-イ -	②-イ 目標値の設定	②-イ 2019年3月	②-イ -	②-イ 目標値の設定	②-イ -	②-イ 目標値の設定（2019年3月）	改善済み	2017年度実績分から、64歳以下の参加者数に変更済み 2017年度32名、目標50名に変更済み ・健診受診データの分析を行い、指標・目標値が正しいか検証作業を行う	-		
								③ アンケート調査の実施・分析	③ -	③ アンケート調査の実施・分析	③ 2019年3月	③ アンケート項目の検討	③ アンケート調査の実施・分析	③ -	③ アンケート調査の実施・分析	③ -	③ アンケート調査の実施・分析	改善済み	・7月に市政モニターアンケートを活用して実施、12月に結果受領 ・HPに公表済み ・市民が講習会等市の事業に参加できない要因は、「知っているが、参加したことがない」37.1%、その理由としては忙しいから44.2%と判明。「知らない」との回答は55%と判明 ※別添、アンケート参照	-
								④ ①～③の取組を踏まえ、事業別行政評価シートにおける事業目的、及び事業の成果を示す指標・目標を再設定する。	④ -	④ 目的・指標・目標の再設定	④ 2019年9月	④ 目的・指標・目標の再設定	④ 目的・指標・目標の再設定	④ 目的・指標・目標の再設定	④ 目的・指標・目標の再設定	④ 目的・指標・目標の再設定	④ 目的・指標・目標の再設定	④ 目的・指標・目標の再設定	改善済み	2017年度実績分から、64歳以下の参加者数に変更済み 2017年度32名、目標50名に変更済み
				最終的な課題は、「健康意識が低い方に本事業にどう参加していただくか」である。また、その検討のためには、どのような方が参加していただかないか「属性の把握」が必要である。	それらを踏まえて市としてこの事業を総括していただきたい。	更に地域の要望を踏まえていただく一方で、提供するサービスを考える際には、市民がこの事業に参加する際のインセンティブを検討願いたい。														
				(2) 地域活動団体からの要望を踏まえて、成人健康教育事業を実施する必要がある。	地域の団体が主体となった健康活動を増やすため、要望のない地域に対して成人健康教育事業の周知を行う必要がある。	市内全域で地域の団体が主体となった健康活動が行われている。	①-ア 支援内容をまとめたプログラムの作成・提供	①-ア -	①-ア プログラムの提供	①-ア 2019年3月	①-ア -	①-ア プログラムの検討・作成	①-ア 健康づくり推進員への情報提供	①-ア プログラムの作成・健康づくり推進員への情報提供（2019年3月）	改善済み	・2017年度の「町田市健康づくり推進委員活動報告書」作成時から、活動報告に加え、「イベント企画の手引き」を追加した。配布していたものを、周知をPR ・地区内の各町内会のつながり、別地区とおしのつながりができるように、新たな取組みにつながった。	-			
							①-イ 地域団体等による活動数	①-イ 14件	①-イ 24件	①-イ 2020年3月	①-イ 14件	①-イ 18件	①-イ 24件	①-イ ●件（2018年4月～2019年2月の累計）	改善済み	新たに、●件増加（見込み） 個別集団での活動が健康づくり推進員との連携活動に変化したことや地区の連携活動により、算出対象も変化。 ※3月上旬に数値確定	-			
				(3) 提供するサービスを考える際には、市民が成人保健指導事業に参加しやすくなるためのインセンティブを検討する必要がある。	事業対象者のうち、健康意識が低い方も成人保健指導事業に参加しやすくなるよう、民間事業者等と連携し、対象に特化したアプローチや、人が集まりやすい場所での事業を開催する必要がある。	健康意識の低い方でも参加しやすい成人保健指導事業を実施している。また、事業対象者が成人保健指導事業に参加している。	① 国民健康保険に加入している方の成人健康診査結果に関する分析、及びアンケート調査の分析を踏まえ、健康意識が低い方の参加意欲を高めるため、大学・民間事業者等と連携した事業を行う。	① 大学・民間事業者等と連携した事業の実施	① -	① 事業の実施	① 2020年3月	① 現状把握	① 大学・民間事業者等との調整	① 事業の実施	改善済み	・11月に中外製薬株式会社と共催事業を実施 ※別添「糖尿病予防講習会」のチラシ参照	-			